

2024年8月19日
アグリビジネス投資育成株式会社

新たな牡蠣養殖手法による水産業の課題解決

～株式会社リブルへの出資について～



アグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役社長：堀部恭二）は、このたび、牡蠣の養殖および IT を活用したスマート牡蠣養殖事業支援に取り組む株式会社リブル（代表取締役：早川尚吾／岩本 健輔、以下「リブル社」）に対して出資しましたのでお知らせいたします。

リブル社は、2018 年に設立され、牡蠣養殖における効率的な稚貝生産技術の開発、作業負荷の少ない養殖手法の導入、生産プロセスの可視化といった牡蠣養殖の生産改革に取り組む企業です。従来、牡蠣養殖は餌の豊富な内湾環境で盛んに行われてきました。リブル社は太平洋に面し牡蠣養殖には水質が良すぎると言われた徳島県海陽町の海で牡蠣養殖の事業化に成功し、種苗の生産から成品の販売に至るまで、自社で一貫して行っています。また、牡蠣養殖のプロセスを IT 技術により可視化し、再現性の高いスマート牡蠣養殖の手法を開発しました。現在、地方自治体と連携してリブル方式での牡蠣養殖の導入支援に取り組んでいます。リブル社の牡蠣養殖手法は、新たな担い手の参入支援や人手不足の解消、遊休漁場の活用といった水産業の課題へのソリューションとなるものと考えております。

アグリビジネス投資育成株式会社（以下「弊社」）は、2002 年に設立され、「国内農林漁業及び食品産業の持続的な発展」を目的として、農林漁業法人、国内外の「食のバリューチェーン」に関わる企業に対して、地域活性化や新しいビジネスの創出等の取り組みを支援しております。漁業者の所得向上において、重要なテーマである地方水産業の活性化に、リブルの事業が資するものと評価し、出資いたしました。本件出資後におきましても、株主である日本政策金融公庫、農林中央金庫をはじめとした系統組織等のネットワークを活用しながら、リブルの事業をサポートし、国内農林漁業の持続的な発展に貢献するよう取り組んでまいります。

引き続き、弊社は、環境・社会課題の解決に貢献し、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

アグリビジネス投資育成株式会社 総務部 中原 TEL：03-5577-6377